

会員企業の活動報告

吉澤運送有限会社 様

◆昭和51年7月設立。現社長の父親が創業。青果物・切花・飼料・一般貨物など手がけ積極的に業務拡大したが、60歳の時、病気により退任。母親が社長に。昌大氏が30歳になり社長となった。現在32歳と若さ溢れる社長です。



吉澤運送(株) (吉澤昌大社長)
前橋市高井町
生花・青果物の集配をメインに一般貨物・飼料等輸送。

◆吉澤運送さんの車輛には花びらのロゴマークが付いています。デザイン学校の生徒から募集し、選考した結果のこと。なんとも優しい感じですね。



◆輸送量の構成比では80%が野菜。ついで一般貨物で、切花が5%くらい。しかし群馬県内の切花輸送では80%のシェアを持つ。切花は農協傘下の出荷組合から集め、富田の集配センターへ。ここで行き先別に積替え他県市場への輸送となる。お盆・お彼岸には菊、他にはユリやアジサイなどがある。

30歳で社長となり、最初に何をしましたか？

◆当時はメインの青果物以外に飼料や路線をやっていたが将来的な繋がりを考え、不採算部門をカット。車輛・社員を縮小した。45台あった車輛は31台になったがその後拡大し、現在ワンク大型車・4t車他で38台、社員数37人となった。社員の平均年齢は37歳と若い。きつい仕事を良くこなしてもらっていると社長は感謝している。

言いたいこと、何でも

①業界⇒会社相互の連携がもっと図れればいいと思う。②青年部会⇒後継者は沢山いるはず。部会活動をもっとPRして部会員をもっと増やしたい。(右に補足)



失礼ですが聞かせてください

支部青年部会内では「ちゃん」と呼ばれていますが...

きっかけは自分は知りませんが、いつの間にかそう呼ばれています。たぶん「ちゃんこ鍋」からでしょう。(吉澤社長はよい体格で、青年部会ではわんぱく相撲担当でもあります)好きなように呼んでください。25歳の時父に連れられ会議に出た。すると富士見運輸の水石さんと亡くなった両毛運輸の上田太一さんに両脇を抱えられ全員に紹介された。無理やり青年部会に入れられてしまったんです。その時、現堀越社長・上田社長は自分より下の人間が来たのでたいそう喜んだらしいです。ここからおかしくなっていくの間に副会長をやらされています。やるぞわんぱく相撲!

★群馬県人の性質なのか、社長同士腹を割った話ができない。経営や業界のこと等、こちらから切り出してもどこかはぐらかされたり弱みを見せなかったり、本音の話にならない。4t車で来てワンハレット降ろして終わり。互いに信頼すれば効率の良い仕事をもっとできるだろうがガードが固い。寂しく感じます。

中越運送株式会社 様

◆昭和26年4月設立。

本社新潟市。貨物自動車運送事業、倉庫業、通関業、航空運送、梱包、自動車整備業、不動産、施設賃貸業、損保業、産廃収集運搬等と業務内容は幅広い。又新潟市内にある新潟グランドホテルを始め旅行・観光・タクシー会社を持ち、自動車学校や整備会社もある。



中越運送(株)・前橋ロジスティクスセンター(栗林裕司所長)前橋市下大島町
新潟県から発した中越運送グループは「物流」「観光」「サービス」の3分野で全国的に活躍しています。

◆東日本大震災の前に中越・中越沖地震に遭われたと思いますが。

★地震が主でしたから被害は長岡(営)が一番大きかった。建物の屋上に空調用の貯水タンクが置いてあり、それが損壊し内部が水浸し。パソコン類が全滅でした。当時私は深川(営)にいましたが小千谷市の実家も心配で東北道回りで新潟に行った。道路の陥没等大きな被害があったがなんとかたどり着きました。

その経験から社内で災害時の対応等決めたことはありますか？

それ以前からありましたが「緊急連絡網」の再徹底が実施されました。全営業所の社内電話に光回線のIP電話を設置。今回の震災でこれは活躍しました。個人個人の携帯電話は繋がらないので細かい部分は連絡が付きませんでした。主たる把握は出来、指示が通りました。同時に仙台物流センターでは建物・中身ともにほとんど被害が無かったことが幸いです。

★中越運送さんの強みは何でしょうか？

経営TOPが去年経済誌に発表した、「一流がうらやむ二流になれ!」という言葉です。

◎輸送品質・人間の質、を上げれば一流にも対抗できる。そんな気力がみなぎりします。

★中越運送さんは色々なことに取組まれていると思いますか

- ①CFS(CHUETSUフレキシブルサービス)。メール便・ホスティングサービス等を業界初で手がけた。DMIは判取りが不要なので後の手間がない利点あり。
- ②クロスドッキング(共同配送)。新潟市では味の素・ケロッグ・永谷園、三条市ではエスケン・ミツカン・カゴメ・日清オイリオ、土浦市ではノリツ・イナックス、前橋市ではTOTO機器等センターに持ち込まれた製品をその場で積替え輸送する。配送の質を厳しく問われるがメーカーとの絆は強い。
- ③環境問題。関東では戸田に整備工場があり点検をこまめに行う。H17年深川(営)がエコドライブコンテストで「環境大臣賞」を受賞。社内では日常点検コンテスト、フォークリフト技能コンテストを行い営業所同士切磋琢磨している。良い意味で競争が質を上げる原動力でしょうか。



Q. 中越運送(株)のシンボルマークにはどんな意味があるのでしょうか？

A. 「中越の中と高速道路のインターチェンジをイメージしたのですが、社内では「労使が腹を割って話すこと」という意味もある、と聞きました。おなかのようでしょうか。(栗林所長)

「腹を割る」こと

の大事さはどこでも言われることですね。

お知らせ

第56回通常総会につき

- ①日時：H23.5.14(土)11:00～
 - ②場所：県庁協会館
 - ③他：昼食後解散
- ご出席の程宜しく願います。

♪環境経営委員会

◆省エネ安全運転講習会日程調整中。早ければ6月から実施します。

ナスバネット
運転適性診断 受付中!

♪事故防止委員会

春の交通安全運動 街頭指導5月に実施

◆前橋警察署より5月の危険日

- ①5/2(月)・3(火)・4(水)
 - ②5/15(日)・16(月)・17(火)の2回です。
- 無事故記録を伸ばしましょう。

♪陸災防委員会

①春の健康診断受付中!

- ②5/21(土)9:00～12:00
フォークリフト安全運転講習会
まだ定員に余裕があります。
申し込みください。

青年部会

①5月14日通常総会
②5月22日(日)わんぱく相撲(敷島公園)

五月です。梅雨時の晴れ間を「五月晴れ」といいますが、一日も早く耀く日が来ることを願います。

今月の交通標語 “点減だ 渡らず止まれが 合い言葉”